

*採択論文であり、著作権が特殊教育学会に属しておりますので、ネット上では要約だけの掲載といたします。

①表題

発達障害児の在籍する通常学級における児童の学級適応に関する研究
ールール、リレーション、友だちからの受容、教師支援の視点からー

②著者名

曾山和彦*・堅田明義**

③所属機関名

*名城大学大学院 大学・学校づくり研究科

**中部学院大学 人間福祉学部

本研究の目的は、複数の発達障害児が在籍する小学校通常学級における実践を、ルール、リレーション、友だちからの受容、教師支援という環境調整の視点から整理し、学級全体を教育力のある親和的な集団に育てるための具体方策を提示することであった。集団遊びと授業場面における日常的な配慮と工夫について、担任による行動観察及び心理尺度を用いた客観的データをもとに、成果の検討を行った。その結果、担任による行動観察では、発達障害児、及び周囲の児童について、遊びや授業場面における肯定的な変容に関する記述が示された。また、客観的データの分析では、尺度の得点の有意な上昇が認められ、発達障害児、及び学級全体の学級満足度が高まったことが示唆された。以上の結果をもとに、通常学級に在籍する発達障害児、及び周囲の児童の学級適応状態を高め、学級全体を教育力のある親和的な集団に育てる効果を期待できる具体方策が整理された。

キー・ワード：発達障害、学級適応、ルール、リレーション、友だちからの受容、教師支援